

2022年6月26日(日)

第3次 長久手市子ども読書活動推進計画策定 のための

第1回ワークショップを開催しました！

テーマ「子どもと読書」家庭や地域でできること



中央図書館AVルームで、第1回ワークショップを開催しました。第3次長久手市子ども読書活動推進計画策定に向けて、市民の皆さんに子どもの読書について一緒に考えていただくものです。

今回は、図書館職員から図書館の事業紹介と計画策定への流れを聞いた後、2つの班に分かれ、以下のテーマについて考えていただきました。

A班

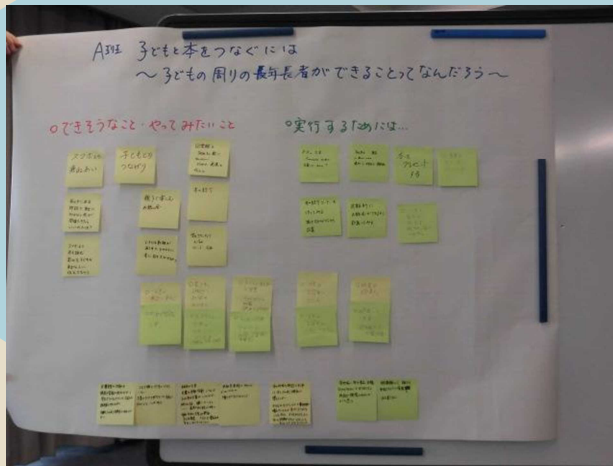
子どもと本をつなぐには
～子どもの周りの年長者ができることってなんだろう～

B班

施設で本と親しむには
～本との出会いが楽しくなるにはどんな工夫ができるだろう～



各班でのワークショップの様子



A班

子どもを持つ親だけではなく、高校生や大学生などを含めた地域の人を巻き込んで読書の楽しさを伝えられることが大切。

B班

図書館以外の施設にも本を置き、読書環境を作る。図書館に行かない子どもたちも興味を持つようなきっかけづくりをすること。



親だけではなく地域の人たち、子どもの周りの年長者がいかに子どもたちに本を読むことの楽しさを伝え、読書の環境を作ることができるかが重要です。



ファシリテーター

愛知淑徳大学 福祉貢献学部

青木 文美 先生

